

いのちと自然を壊す原発は いらない! 10・13 NO NUKES DAY 原発ゼロ 統一行動 日比谷公園に4万人

秩父からも参加しました

午後一時からの集会でしたが、会場の日比谷公会堂には満杯で入れず、公園の人混みの中をウロウロ歩いていたら、「原発ゼロをめざす秩父連絡会の人たち」、「原発とめよう秩父人のみなさん」、顔見知りのご夫婦・、秩父からの参加者30人くらいに会いました。



集会場に入りきれなかった人のためにスピーカーが用意されました。福島から参加の主婦の発言、除染で出た放射能汚染物の袋がまだあちこちに積まれており、国が福島に汚

染物の焼却施設を20カ所も建設しようとしています。焼却が始まればさらに被曝することになると危険を訴えていました。

広島原爆で被災しながら治療にあたった肥田医師は、原爆による放射能被害の検証がされず、福島事故にも対応できていない。米軍は原爆被害の情報を隠ぺいし研究も禁止し、調べようとした肥田先生も広島国立病院から追い出された。戦後68年、今も原爆症で苦しんでいる人がいる。命を守るため原発を止める、核兵器をなくす、大人は原発をなくすまで死んではいけない、危険な原発を子供たちに残してはいけないと強く訴えられました。

作家の大江健三郎さんは、命が大事にされ未来に命をつなぐことは根本的・本質的なことであり絶対に譲れない最優先の今の問題、原発再稼働の動きを押し返そうと力説されました。

一時過ぎから、集会に次ぐデモ行進。日比谷公園から東電前を通り日

比谷公園に戻るコースでした。私たちは、5時過ぎにデモから帰ってきたのですが、まだデモ



たのですが、まだデモに出発する人たちもいて、多くの参加がありました。デモの後、国会議事堂前集会へと移動しました。

小泉元首相も 今は原発反対

原発を推進してきた自民党の小泉元首相もよく勉強したら原発は安くないし安全ではない、現首相が再生可能エネルギーを、原発ゼロを決意すれば出来る」と発言しています。

汚染水は止まらず、新たに漏れ出し作業員の人手も少



なくなっています。福島原発事故はどう処理出来るのでしょうか。今国内の原発はすべて止まっています。事故からこの2年、電力は不足しませんでした。あちこちにソーラーパネルの屋根も見えるようになりました。危険な原発はもういらない!

郷土芸能の継承を大切に

10月10日国神社の秋まつりが行われた。祭典の後、獅子舞の奉納がおこなわれました。常連らしきカメラマン数人、埼玉県からも三人取材に訪れました。

70〜80歳台の方が笛の演奏、30〜40歳台の方が獅子舞を演じ、午後は学校帰りの小学生も加わりました。正に世代交代が継続されています。大切なことだと思います。国神社で以前使用されていた笠鉾は現在、町の旧農山具村展示館にあり、近々、修復され皆さんの前に昔の形で姿を現すでしょう。各地域の郷土芸能を、町をあげて守り、発展させていきたいと思います。

